

読者各位

(株)サイエンティスト社

このたびは、「人間ドック専門医試験受験のためのセルフトレーニング問題と解説 改訂版」をご購入いただき誠にありがとうございます。

本書におきまして以下の誤りがございましたので、ここに訂正させていただきますとともに深くお詫び申し上げます。

■P144 問題13の解答（誤植）

誤： c (3, 4)

正： d (3, 4)

■ P93 問題15の問題文、解答項目の追加

解説より、正解の(e)のみならず、(d)も正解となるので、問題の改変を致します。

誤： 原発性肝がんについて正しいのはどれか。 ~~1つ選ぶ。~~

- (a) 肝細胞がん切除後の累積再発率は5年で20～30% である。
- (b) 肝細胞がん切除後の5年累積生存率は90% 以上である。
- (c) Child A では原則として肝切除術は行わない。
- (d) 内科的局所療法としてはラジオ波による焼灼療法が主体である。
- (e) 肝移植は単発で5cm 以下または3個以内で、3cm以下の場合が良い適応である。

正： 原発性肝がんについて正しいのはどれか。

- (1) 肝細胞がん切除後の累積再発率は5年で20～30% である。
- (2) 肝細胞がん切除後の5年累積生存率は90% 以上である。
- (3) Child A では原則として肝切除術は行わない。
- (4) 内科的局所療法としてはラジオ波による焼灼療法が主体である。
- (5) 肝移植は単発で5cm 以下または3個以内で3cm以下の場合が良い適応である。

a (1, 2) b (1, 5) c (2, 3) d (3, 4) e (4, 5)

解答 (P216) はe (4, 5) になります。解説には変更はありません。

■P49 問題1の問題文 (a)

誤： (a) シェーグレン症候群では、シトルリン化ペプチド（抗CCP）抗体が陽性になる

正： (a) 変形性関節症では、疾患標識自己抗体として抗シトルリン化ペプチド（抗CCP）抗体が陽性になる

●P158 上記問題の解説の冒頭に追加

疾患標識自己抗体とは、膠原病各疾患の診断上有用な自己抗体である。検出されれば各々の疾患の可能性が高く、特定の病態・描像と密接に関連する。しかし、一般には感度が低いため陰性であってもその疾患を否定することにならない点に注意が必要である。

■P50 問題3の問題文(5)

誤：(5) 抗一本鎖(ss) DNA 抗体高値

正：(5) 抗SCL-70(トポイソメラーゼⅠ)抗体高値

●P159 上記問題の解説の最後に追加

抗SCL-70(トポイソメラーゼⅠ)抗体は全身性硬化症(SSc)の約30%に検出され、疾患特異性が高い。

■P25 問題5の解答項目と、解答

誤：a(1, 2) b(1, 5) c(2, 3) d(3, 4) e(4, 5) 解答 b(1, 5)

正：a(1, 2, 3) b(1, 2, 5) c(1, 4, 5) d(2, 3, 4) e(3, 4, 5) 解答 c(1, 4, 5)

●P131 上記問題の解説に追加

ホルムアルデヒドは、国際がん研究機関(IARC)の定める発がん性リスク一覧のGroup2A(ヒトに対する発がん性がおそらくある)からGroup1(ヒトに対する発がん性が認められる化学物質、混合物、環境)へ格上げされたため、解答に追加いたします。

以下は、解説のみ修正・変更いたします。

●P200 (P77 問題7) の解説を変更

解説文6行目の「硝子体出血と網膜剥離は硝子体手術により重篤な視力障害の進行を抑制し、良好な視力を維持できる場合がある。糖尿病に合併する高血圧の治療は、網膜症の発症・進展の抑制に有効である。」が重複しているので削除し、「**早期の増殖網膜症および糖尿病黄斑症に対して光凝固療法を行うと網膜症の進展を止める、または遅らせることができる。**」を追記いたします。

●P181 (P63 問題7) の解説を変更

解説の5行目の「・朝食を抜くことは週3回以下までにする。」を「**・朝食を抜くことは週2回以下までにする。**」へ変更する。

●P186 (P67 問題7) の解説を修正

解説の13行目の「医師法第1条」を「**医師法第1条の4の2**」へ修正する。